

令和 2 年 7 月 3 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H04471

研究課題名(和文) 伝統文化継承装置としての花街建築および景観の全国的体系化とマネジメント

研究課題名(英文) Systematization and management of architectures and landscape in "kagai" which inherit traditional Japanese culture

研究代表者

岡崎 篤行 (OKAZAKI, Atsuyuki)

新潟大学・自然科学系・教授

研究者番号：10281247

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,600,000円

研究成果の概要(和文)：東京、京都、金沢、新潟、名古屋、小浜、長崎丸山、札幌薄野といった全国の主要な花街を対象として、花街の成り立ちと現在までの変化、花街建築の特性や文化財的価値、花街建築の残存状況及び景観特性、花街の景観保全・住環境保全に係る計画的課題、花街の維持・継承に係るエリアマネジメントの仕組み、花街のプロモーション・地域活性化、祭礼空間と花街との関係等について分析した。さらに、料亭が一軒だけ残っているような小規模な花街についても現在の概況をいくつか明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

全国の花街建築やその歴史的景観は失われつつあり、景観保全や住環境保全がまちづくりの緊急課題となっている。一方、かつては閉鎖的であった花柳界だが、行政や市民と協働する方向に変わりつつある。実際、本研究メンバーは、各地で花柳界関係者と共にまちづくりを行っている。従って、本研究の成果の一部として行う制度や事業に関する提案を、伝統文化の継承、地域固有の景観の保全、ならびに地域経済活性化の方策として活かすことが可能である。

研究成果の概要(英文)：Kagai is a traditional entertainment district where Geisha perform Japanese dance and music. Origin and formation of kagai, architectural feature, remaining traditional architectures, townscape of kagai, preservation and planning issues, area management system, promotion of kagai, relationship between kagai and traditional festivals, etc. were analyzed in this study. We also investigated the current condition of small scale kagai where only a few Japanese traditional restaurants remain.

研究分野：都市計画

キーワード：花街 伝統文化 景観 マネジメント 都市形成

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

芸妓主体の花街と娼妓主体の遊廓（色町）は近代に分離された。かつて花街は全国に600を超える数存在し、昭和初期から戦後の高度成長期にかけて隆盛を極めたとされる。しかし、その多くは廃れ、大阪や仙台などの大都市においてさえ、ほぼ消滅している。昨今の経済状況や経営者・芸者衆の高齢化を踏まえると、今後、急速に消滅していくことが予想され、現存する花街を調査し、保全策を講じることは緊急の課題である。なお、花街の遺構は全国各地に存在すること、世界無形文化遺産となっている和食、歌舞伎、着物などを継承する場であること、イベントなどで一般市民も参加できる機会が増えつつあることなどから、本研究課題は普遍性があるといえる。

既往研究の状況としては、遊廓に関する史的研究が多く、その一部で花街を取り上げている場合はあるが、花街を主体にした研究は意外なほどに少ない。歴史地理学分野で一定の蓄積があるほか、都市建築分野では個々の建築を中心に扱ったものが、わずかにある状態であった。また、京都や金沢で花街を対象とする調査が行われているが、歴史的町並みとしての調査であり、花街という視点からの調査ではなかった。このように、複数の花街の建築や景観に関して横断的に比較を行った研究はされていなかった。

これまでの研究活動において、営業している料亭・茶屋が一定数存在する花街や花柳界の活動が活発な花街は全国に約40か所あり、これらの他、小規模な花街も存在することを確認している。さらに著名な京都、金沢が茶屋を中心とする花街であるのに対し、東京、新潟を含めた他都市では料亭が中心であり、その建築様式も異なることも明らかになった。すでに祇園新橋や金沢のひがし茶屋街など、茶屋街で国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているところはあるが、料亭街での選定はまだなく、本研究を通じた全国的な価値付けが重要な課題である。また、現在、全国的に花街の価値が再認識され、新潟、山形、秋田では芸妓の育成支援事業がおこなわれている。さらに、新潟においては花柳界の関係者も含めた「古町花街の会」が設立されるなど、エリアマネジメントやまちづくりといった視点から花柳界を支援する体制が整いつつあることを把握している。このように、全国の花街を対象を広げ、これまで歴史面、意匠面、計画面から行ってきた研究を、より詳細に行うとともに、花柳界に対する支援や花柳界自体の取り組みも含めたマネジメントにも焦点を当てる必要がある。

### 2. 研究の目的

継続研究都市である東京、京都、金沢、新潟、福井、小浜、盛岡、山形、酒田に加え、長崎丸山、福岡博多、札幌薄野を主要花街として分析する。これらの花街を対象に、(1)花街の形成・変容、(2)花街建築の特性（文化財的価値）、(3)花街建築の残存状況及び景観特性、(4)花街の景観保全・住環境保全に係る計画的課題、(5)花街の維持・継承に係るエリアマネジメントの仕組み、(6)花街のプロモーション・地域活性化の6つの研究課題に取り組む。また、上記の主立った研究対象地のほかに、全国各地に数軒の料亭のみで生業を続ける小規模な花街が存在する。これらの花街においても必要な研究課題を横断的に明らかにし、先の研究対象地とあわせて研究課題ごとの全国的実態を体系的に整理する。

### 3. 研究の方法

以下に、6つの研究課題ごとに調査・分析内容を示す。

(1) 花街の形成・変容： 街区形成に係る資料収集及び分析（花街建築の集積、路地の発達、街路空間の形成などにも留意） 変容過程（用途転換）の分析 花街における生活空間の

変容の分析 花街の形成・変容の全国的実態と地域特性の整理

(2) 花街建築の特性(文化財的価値): 花街建築(料亭、茶屋、置屋ほか)の実測・ヒアリング調査など 花街建築の特性(間取り、内部意匠、各室の使われ方)の整理 花街建築の全国的実態と地域特性の整理

(3) 花街建築の残存状況及び景観特性: 歴史的花街建築の抽出(目視による判定、ヒアリング調査など) 歴史的花街建築の残存状況の整理 花街建築の外観特性と町並み・路地空間の評価 歴史的花街建築の残存状況の全国的実態と地域特性の整理 花街建築の外観特性と町並み・路地空間の全国的実態と地域特性の整理

(4) 花街の景観保全・住環境保全に係る計画的課題: 景観阻害要因(電線、看板、高さ問題など)の抽出 既存不適格の問題(防火地域・準防火地域、二項道路など)の整理

花街の景観・住環境保全に係る計画課題・先進的取り組みの全国実態の整理 各花街における既存の景観保全・都市計画制度などの適用可能性の検討 花街の景観・住環境保全に係る制度体系(組み合わせなど)の検討

(5) 花街の維持・継承に係るエリアマネジメントの仕組み: 花街で活動する市民団体へのヒアリング調査、資料収集 花柳界の同業者組織のまちづくりへの参画状況の整理

市民団体・行政と連携した花街のまちづくり活動の課題及び展開方策の整理 花街の維持・継承に係る市民活動の全国的実態の整理 花柳界に係る活動や人材育成の全国的実態の把握

(6) 花街のプロモーション・地域活性化: 行政や商業・観光関連団体へのヒアリング調査・資料収集 花街のプロモーションや花街を核とした地域活性化事業の整理 花街のプロモーション・地域活性化の全国的実態の整理

#### 4. 研究成果

各事例において、6つの研究課題に取り組んだ。具体的には地域ごとに下記のとおりであり、文章内の(1)~(6)は2, 3の研究課題と対応する。下記の主要調査都市のほかに、秋田、酒田、静岡、福井、岐阜、安城、桑名、奈良、福岡、広島、岡山、松山、高知、高松、仙台、盛岡においても調査をおこなった。

札幌薄野・函館江差を対象として、(1)花街空間の変遷についてあきらかにした。新潟は古町を対象として、(1)明治・大正期の料理屋・待合・貸座敷の集約過程をあきらかにした。また、(2)花街建築である旧花岡邸についての建築実測調査、立面図作成をおこなった。さらに、(5)人材育成とおもてなしのマネジメント及び(6)昭和中期以降のまちづくり活動の変遷をあきらかにした。市内のみならず、県内における(1)昭和30年から平成2年までの電話帳での花街の掲載件数調査及び長岡・高田・三条・新発田の(1)昭和初期から現在までの花街の形成過程をあきらかにした。東京は新橋、赤坂、浅草、向嶋、八王子を対象として、(1)大正期又は昭和初期から現在までの形成過程をあきらかにした。また、八王子は、(4)夜間景観や防犯の関係について実測調査をもとに考察した。さらに、まちづくりや景観形成の観点から、(6)地元のまちづくり協議会と連携して、将来計画のあり方を議論した。大井・大森、大塚を対象として、(5)地域との連携についての調査をおこなった。名古屋は、旧花街16連および名古屋芽生会加盟の料亭について、(1)花街空間の変遷及び(4)周辺景観の実態と景観関連規制の調査をおこなった。金沢はにし及び主計町茶屋街を対象として、(1)昭和初期から現在までの形成・変容過程を明らかにした。さらに、三茶屋街(ひがし、にし、主計町)の(5)空き家活用調査をおこなった。小浜は三丁町を対象として、(1)近代以降の変遷及び空き家の活用について調査をおこなった。京都は上七軒を対象として、(1)近代における歌舞練場や女紅場施設の成立過程とその後の変遷をあきら

かにした。祇園を対象として、(1)花見小路界隈の茶屋街の開発実態・形成過程、茶屋街建築と茶屋街の維持経営の過程を明らかにした。先斗町を対象として、(1)戦後の土地利用の変化及び(4)屋外広告物のコントロール(6)景観まちづくりのプロセスを明らかにした。上記に宮川町を加えた京都の花街を対象として、(4)花街の景観政策、(5)人材育成とおもてなしのマネジメントについてあきらかにした。また、(5)伝統芸芸基礎教育と技能発揮の機会の連携が、伝統文化継承に貢献することを見出した。長崎は丸山町を対象として、(1)通り及び路地の生成過程の分析と(3)古写真をもとにした景観の変容の分析をおこなった。また、(3)料亭の実態と(4)景観関連規制の調査をおこなった。新潟、浅草、長崎、八王子等を対象として、(6)祭礼時における芸妓の出演シーンの形態的・空間的特徴を調査し、祭礼の中での役割や、花柳界の動機や意図を見出した。

研究成果は、平成28年度に東京大学にてシンポジウム「花街の歴史とまちづくり」、平成29年度に新潟古町の旧花岡邸にてパネル展示イベント「旧花岡邸公開・全国の花街空間展」にて発表をおこなった。さらに、平成30年度には、新潟古町のホテルイタリア軒にて調査結果に関するパネル展示、旧花岡邸にて内部公開イベントを行った。また、金沢にて研究会を行った。平成31年度には、最終成果報告会として東京工業大学にて「継承される花街の都市空間」をおこなった。

今回は、全国の花街の実態について網羅的に調査をおこない、いくつかの地区では花街空間の変遷をあきらかにした。一方で、昭和初期、中期頃発行された史料（東京では火災保険特殊地図等）が確認できなかった地区については、花街空間の変遷についてあきらかにできなかった。今後は新しい史料の発掘の為、地元研究者の協力が必要になってくると考える。また、芸妓が1, 2名程度活動している小規模な花街や組合が解散している花街について実態を把握できなかった地区がある。また、HPの閲覧やメールの調査のみで直接ヒアリングに伺えなかった地区もあった。そのため、今後も引き続き調査が必要である。さらに、花街の中核を担う料亭は、花街が消滅した地域でも営業している。和食がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、和食や料亭の価値は見直されており、花柳界の料亭のみならず視野を広げ調査をおこなうことが必要になってくると考える。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計24件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 園部隼平・大場修	4. 巻 Vol.58
2. 論文標題 京都花見小路界隈の茶屋街形成過程	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会近畿支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 西尾久美子	4. 巻 Vol.20
2. 論文標題 おもてなしの事業システム - 京都花街と東京花街の比較 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都女子大学現代社会研究	6. 最初と最後の頁 37-54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畠山 結、松井 大輔、沢畑 敏洋	4. 巻 53
2. 論文標題 京都市先斗町における多主体連携による保全型まちづくりの展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1247～1252
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） <a href="https://doi.org/10.11361/journalcpj.53.1247">https://doi.org/10.11361/journalcpj.53.1247</a>	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畠山結・松井大輔・沢畑敏洋	4. 巻 都市計画
2. 論文標題 京都市先斗町における多主体連携によるまちづくりの展開課程-多主体を繋げる個人の関係に着目して-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会2018年度大会（東北）学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 169-170
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 井上年和	4. 巻 -
2. 論文標題 祇園甲部歌舞練場本館の構造的特徴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会2018年度大会（東北）学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 811-812
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋、岡崎篤行	4. 巻 61号
2. 論文標題 花街を構成する建築物に関する分布の変遷 -昭和初期から現在における東京新橋を中心とした三業を対象として-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会 北陸支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 429-435
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋、岡崎篤行	4. 巻 都市計画
2. 論文標題 明治・大正期の旧新潟町における花街の変遷 -料理屋・待合及び貸座敷の集約に着目して-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018年度日本建築学会 学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 163-164
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 加藤稜大、岡崎篤行、久保有朋	4. 巻 都市計画
2. 論文標題 花街の保全に関する活動並びに組織の関係と変遷 -新潟市古町花街を対象として-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018年度日本建築学会 学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 165-166
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋、宮島悠夏、岡崎篤行	4. 巻 57号
2. 論文標題 花街振興を目的とした一般開放イベント並びに花街建築の公開活用に関する実態 -全国47か所の花街を対象として-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 833-838
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 今村洋一	4. 巻 -
2. 論文標題 料亭の現況からみた名古屋における花街文化の継承状況	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会2018年度大会 (東北) 学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 167-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 帆苅典子、岡崎篤行、久保有朋	4. 巻 No.17
2. 論文標題 花街における景観の現状及び修理・修景に係る課題 -新潟市古町を対象として-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 299-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小松田里美、岡崎篤行、今村洋一、久保有朋	4. 巻 No.17
2. 論文標題 町屋の隣棟間に形成された路地の所有形態と空間構造 -新潟市古町地区を対象として-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 332-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hidechika Nakamura, Atsuyuki Okazaki, Aritomo Kubo	4. 巻 -
2. 論文標題 Transition and Distribution of Kagai Buildings in Akasaka, Tokyo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The 6th International Symposium on Fusion Technology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋, 宮島悠夏, 岡崎篤行	4. 巻 -
2. 論文標題 花街建築の公開活用実態-全国20箇所の花街を対象として-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会2017年度大会(中国)学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 635-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡崎篤行, 宮島悠夏, 久保有朋	4. 巻 -
2. 論文標題 花街振興を目的とした一般開放イベントの実態-全国26箇所の花街を対象として-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会2017年度大会(中国)学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 637-638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾久美子	4. 巻 12号
2. 論文標題 日本型エンターテインメントの人材育成と事業システム - 京都花街・宝塚歌劇・AKB48の比較 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 京都女子大学大学院 現代社会研究科紀要	6. 最初と最後の頁 107 - 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 井上年和	4. 巻 -
2. 論文標題 上七軒における女紅場の設立と歌舞練場の建設経緯	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会2017年度大会(中国)学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 39-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澤村明	4. 巻 Vol.104
2. 論文標題 新潟県下花柳界衰亡史	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 新潟大学経済論集	6. 最初と最後の頁 173-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾久美子	4. 巻 97巻 1132号
2. 論文標題 京都花街、舞妓さんのおもてなし	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 建築と社会	6. 最初と最後の頁 28 - 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上年和	4. 巻 -
2. 論文標題 祇園甲部歌舞練場別館の建築的特徴	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会 2016年度大会(九州)学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 849-850
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋, 岡崎篤行, 松井大輔	4. 巻 No.81
2. 論文標題 花街を構成する建築物に関する分布の変遷 昭和初期から現在における新潟市中央区古町の三業を対象として	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会 計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1695-1712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮島悠夏, 岡崎篤行, 松井大輔	4. 巻 No.51
2. 論文標題 花街の景観演出要素としての提灯の掲出 京都五花街を中心として	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会 技術報告集	6. 最初と最後の頁 739-742
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保有朋, 神主大輔, 岡崎篤行	4. 巻 -
2. 論文標題 新潟市古町花街における街路及び敷地割の変遷 江戸後期から昭和初期を中心として	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会 2016年度大会(九州)学術講演梗概集	6. 最初と最後の頁 1019-1020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷美咲, 坂本萌, 岡崎篤行	4. 巻 No.15
2. 論文標題 花街を構成する建築物に関する分布の変遷-昭和初期から現在における金沢三茶屋街を対象として-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本都市計画学会 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 258-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	野澤 康  (NOZAWA Yasushi)  (00251348)	工学院大学・建築学部(公私立大学の部局等)・教授   (32613)	
研究分担者	井上 年和  (INOUE Toshikazu)  (00505688)	京都美術工芸大学・工芸学部・准教授   (34326)	
研究分担者	今村 洋一  (IMAMURA Youichi)  (00568404)	椋山女学園大学・文化情報学部・准教授   (33906)	
研究分担者	川原 晋  (KAWAHARA Susumu)  (10367047)	首都大学東京・都市環境科学研究科・教授   (22604)	
研究分担者	大場 修  (OBA Osamu)  (20137128)	京都府立大学・生命環境科学研究科・教授   (24302)	
研究分担者	澤村 明  (SAWAMURA Akira)  (40334643)	新潟大学・人文社会科学系・教授   (13101)	
研究分担者	岡村 祐  (OKAMURA Yu)  (60535433)	首都大学東京・都市環境科学研究科・准教授   (22604)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	池ノ上 真一  (IKENOUE Sinichi)  (60582252)	北海道教育大学・教育学部・准教授    (10102)	
研究分担者	井上 えり子  (INOUE Eriko)  (70226736)	京都女子大学・家政学部・准教授    (34305)	
研究分担者	松井 大輔  (MATSUI Daisuke)  (80709816)	新潟大学・自然科学系・准教授    (13101)	
研究分担者	西尾 久美子  (NISHIO Kumiko)  (90437450)	京都女子大学・現代社会学部・教授    (34305)	